

学校給食における異物混入について

このたびの相次ぐ学校給食の金属異物混入により、各小中学校・幼稚園の関係の皆様及び保護者の皆様に、多大なご迷惑とご心配をお掛けしましたこと、改めてお詫びいたします。

記

1. 11月14日及び11月30日に発生した異物混入に係る対応について

去る12月17日(月)から、(有)島根中央炊飯センターの炊飯業務について再開いたしました。炊飯業務再開までの対応を下記のとおり報告いたします。

1) 混入異物の特定について

成分分析の結果、次のとおり異物を特定しました。

- ① 11月14日(水) 稗原幼稚園の異物 【資料1参照】
アルミ製ごはん食缶の一部(市所有貸与品)
- ② 11月30日(金) 高浜小学校の異物 【資料2参照】
アルミ製炊飯釜の一部((有)島根中央炊飯センター所有)

2) 異物混入の原因と炊飯業務再開にあたっての対応策について

①稗原幼稚園の事案 【資料1参照】

稗原幼稚園が使用していた同型のアルミ食缶は、ステンレス製の取手を使用しており、その取手がアルミ製の食缶内壁を削って生じた金属片が混入したものと推定いたしました。

同型のアルミ食缶についてはすべての使用を取止め、ステンレス製の食缶に交換しました。

②高浜小学校の事案 【資料2参照】

炊飯に使用する炊飯釜の裏側、横側に多数の傷がついていることを確認しました。炊飯過程で、炊飯釜がコンベア等の鉄・ステンレス部材と接触し機械的な「削れ」が生じ、混入したものと推定いたしました。

炊飯釜はすべて新品に交換することで同社と合意しましたが、納品まで2か月程度要することから、暫定措置としてすべての釜についた傷について研磨して対応することとしました。また炊飯過程で炊飯釜が接触する他の金属部分については、全てゴム等の緩衝材を装着しました。

3) 炊飯業務再開までの対応について

- 11月30日(金)
～12月3日(月) 出雲市教育委員会立入調査、混入原因調査
- 12月3日(月) 検体採取、成分分析依頼
- 12月5日(水) 成分分析結果により混入異物の成分特定

1 2月6日 (木)	～1 2月11日 (火) 異物混入対策の検討・実施、調理場内総点検、清掃
1 2月 7日 (金)	小中学校・幼稚園、保護者宛て中間報告文書送付
1 2月10日 (月)	出雲保健所立入調査
1 2月12日 (水)	出雲市教育委員会立入調査
1 2月13日 (木)	小中学校・幼稚園、保護者宛て米飯配食再開通知送付
1 2月17日 (月)	米飯の配食再開

2. 1 2月14日に発生した異物混入について

1) 発生日時・場所

- ①平成30年1 2月14日 (金) の給食時 (1 2時48分頃)
- ②北陽小学校 4年3組

2) 発生時の状況

同クラス教室で、男子児童に配られた給食副菜「いそかあえ」の中に、円柱の金属(棒状のもの)(長さ10ミリ、直径0.8ミリ程度)1個が混入していました。

男子児童が喫食中、食器の中に異物を発見し、直ちに担任から職員室へ報告。全校で「いそかあえ」の喫食を中止し、給食主任から平田学校給食センターに連絡がありました。なお男子児童は、異物を口にしていません。

3) 発生後の対応

直ちに同センター職員が小学校に出向き、当該異物を確認しました。また、同児童にケガ等健康被害はなく、同クラス、同校の他の児童に異常がないことを確認しました。

平田学校給食センターは、センター所管の全小中学校・幼稚園等(小学校13校、中学校3校、幼稚園5園、光人塾)に連絡しましたが、給食はほとんど終了しており、その際異常がなかったことを確認しました。

平田学校給食センターの調理器材等について、欠けなどがいないか確認しましたが、該当はありませんでした。当該異物の成分分析検査を行い、異物の特定に努めます。

4) 再発防止策

日頃から、調理機器及び厨房設備の調理前中後の点検・確認、食材の目視確認及び食材納入事業者への異物混入防止の徹底指導について、取り組んでいます。

今回の事案を重く受け止め、全給食センターの調理設備・機器の総点検と調理対応マニュアルの見直しを行い、異物を絶対混入させないという強い危機管理意識をもって調理にあたり、安全・安心な学校給食の提供に努めます。



資料1

稗原幼稚園

11月14日(水)

針金状金属片

長さ1cm、直径毛髪程度



アルミ食缶

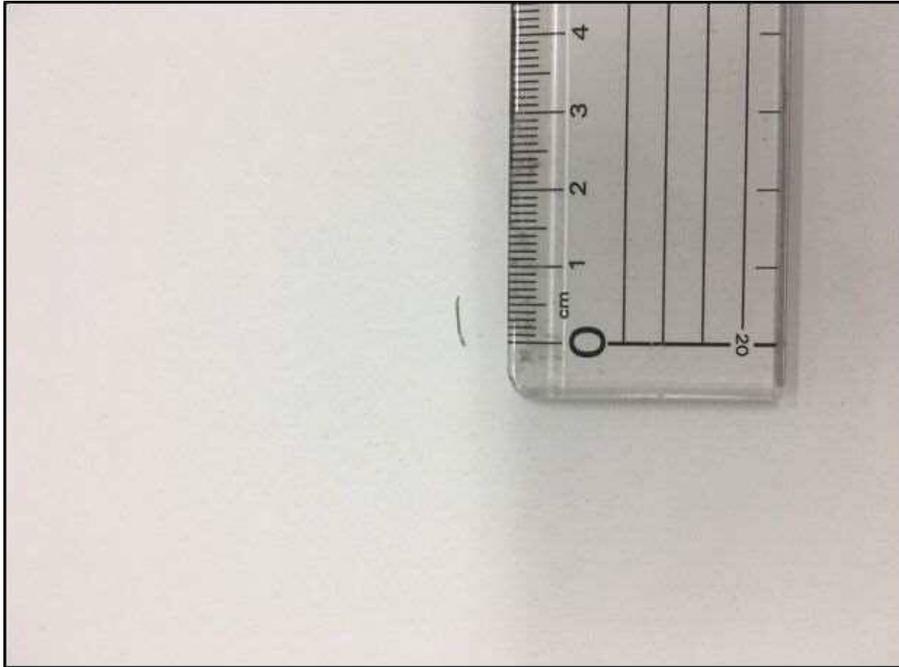
一部小学校・幼稚園用

本体:アルミ製

取手:ステンレス製



内壁傷



資料2

高浜小学校

11月30日(金)

針金状金属片

長さ8mm、直径0.4mm程度



アルミ製炊飯釜

6キ口炊き

本体:アルミ製



底、側面傷